

平成25年度一般会計および特別会計決算議案等19件を審査するため、9月19日に全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、計6日間にわたり審査しました。また10月3日に議長から市長に対して、指摘要望事項を提出しました。



決算審査特別委員長

市長に提出した 指摘要望事項

5つの分科会審査の結果、まとめられた10項目の指摘要望事項を、市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

1 財政運営

については、依然として厳しい状況が続くことから、主要債務総額の削減や財源確保に積極的に取り組み、財政健全化のさらなる推進を図られたい。

また、本庁舎整備については、労務費や資材価格の高騰が当面続くことが見込まれることから、基本計画等の策定に当たっては、建設予定時期にとらわれず建設費の抑制に向けた検討を十分に行われたい。

2 防災対策

については、近年、風水害被害が多発していることから、危険箇所の把握と被害想定を検討を行うとともに、危険箇所に適した避難訓練等を日頃から実施するなど、災害時に速やかな避難活動が行えるよう防災意識の向上に努められたい。

また、災害時における避難所生活においては、女性や高齢者・障害者等への配慮が必要とされることから、多様な視点を取り入れた被災者支援策に意を用いられたい。

3 心とからだの健康づくり

については、疾病の早期発見及び医療費抑制の観点から、健診等の受診率の向上に努めるとともに、保健指導対象者への支援や健康増進施策の充実強化を図るなど、さらなる疾病予防の取り組みを推進されたい。

また、自殺対策については、自殺企図者や遺族への支援に意を用いるとともに、相談体制の充実強化や自死の要因となるうつ病に対して、市民への理解促進を図るなど、さらなる自殺抑制に努められたい。

4 両市立病院

については、看護師不足が収支悪化の要因となっていることから、看護業務における教育・研修体制の充実強化や、より働きやすい勤務体制の検討など、労働環境の改善による離職者数の抑制に努め、経営改善の早期実現を図られたい。

5 ごみ減量の推進

については、家庭ごみ及び事業所ごみのさらなる分別・再資源化に資する各種施策を展開するとともに、ちばルール行動協定の締結事業者の拡大や多様な媒体を活用した効果的な意識啓発を図るなど、市民・事業者・本市が一体となり、一層のごみ減量化に取り組まれたい。

6 卸売市場の運営

については、市民に適正な価格で新鮮な生鮮食品の安定供給を図ることはもとより、市場の活性化を図るため、地元商店街及びスーパー等への販路開拓や、市場における千葉市ブランド商品の取り扱いを充実させるなど、関係機関との綿密な連携に取り組むことにより、取扱高の拡大を図られたい。

7 こどもの参画推進

については、これまでに様々な事業が行われているが、今後はモデル事業にとどまることなく、こどもの参画ガイドラインを生かした他部局との連携や支援体制の充実、地域人材の活用等により、全市民的な取り組みとしての展開を図られたい。

8 いじめや不登校等問題行動への対応

に当たっては、児童生徒を取り巻く環境が複雑化し、学校だけでは解決できない問題が増加傾向にあることから、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置拡充等、教育相談体制のさらなる充実を図られたい。

9 住宅政策

については、既存住宅ストックの老朽化に対応し、建物の耐震化や分譲マンションの再生を促進するため、各支援制度の十分な周知に努めるとともに、利用しやすい支援メニューの創設について意を用いられたい。

また、将来的な人口減少を見据え、不動産業界との連携を強化するなど、空き家対策や若年世帯の定住促進に取り組まれたい。

10 集中豪雨への対応

については、近年の異常気象を踏まえ、雨水の排水・貯留・浸透能力を高めるため、関連施設の計画的な整備に取り組むほか、雨水貯留槽等の設置に係る助成制度のさらなる利用促進に努められたい。

また、急傾斜地崩壊対策についても、関係機関と連携し、的確な情報把握に努め、着実に推進されたい。

意見表明

10月2日の決算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、7人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計決算等を原案どおり可決・認定しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです。(通告順に掲載)

未来創造ちば

財政健全化に取り組むとともに、市政発展や市民生活向上にも投資を

財政健全化へ向けた取り組みの効果が表れてきた決算であり、高齢者・障害者福祉、子育て支援などの施策も、市民福祉の一層の向上に資すると認められます。引き続き、財政健全化に向けた取り組みを推進するとともに、真に市政発展や市民生活向上に必要な事業にはしっかりと投資を行い、市民が将来に夢と希望を持ち、安全に、安心して暮らせる魅力あるまちの実現を目指すようお願いします。

公明党千葉市議会議員団

財政健全化プラン4年間の取り組みの成果が表れてきていることを評価

財政健全化プラン4年間の取り組みの成果が徐々に表れてきており、また、各施策についても、再生可能エネルギーの導入推進など課題となっていた施策を展開されており評価しますが、厳しい決算でありました。

引き続き、財政健全化とともに、超高齢社会に備えた市民福祉の向上、少子化を見据えた活力ある千葉市構築のために一層の努力を求めます。

民主党千葉市議会議員団

財政健全化に向けた着実な取り組みがなされており認定

一般会計決算は、市債管理基金からの借入りに依存せずに実質収支を確保し、市債発行残高は3年連続して100億円以上の削減が図られるなど、財政健全化に向けて着実に取り組んでいます。施策面では、ICTを活用した業務改革の取り組みの推進、待機児童の解消など大いに評価できるものです。今後も財政健全化に取り組みつづき、未来への投資を着実に進めるよう要望します。

市民ネットワーク

市民との協働を着実に進める市政運営を求め、認定

財政再建の道筋、人権の重視、市民の参画という観点から判断し、不十分なところはありますが方向性は理解できるため認定としました。退職手当債の発行が続く市債管理基金からの借入残高の縮減が進まず、依然厳しい財政状況であり、少子高齢化、人口減少が避けられない中の市政運営は厳しいものがありますが、当事者の声を真摯に受け止め、市民との協働を着実に進める市政運営を求めます。

日本共産党千葉市議会議員団

市民生活・福祉を考慮せず、大型開発を進めた決算は不認定

2013年度決算は、市民には公共料金値上げなど負担を強いながら、引き続き大型開発を進めたものであり、地方自治法の本旨である「住民福祉の増進」に反しています。また、家庭ごみ有料化や国民健康保険料の見直しは、市民生活・福祉を考慮していません。さらに、来年の消費税10%への増税はやむを得ないとする市長の立場は、市民の実態を受け止めておらず、認めることはできません。

次世代の党・維新の党

財政健全化の着実な推進と、真に必要な分野への重点化を評価

財政健全化に向けた取り組みの効果が表れてきたものであり、評価します。児童虐待、教育施策、動物公園などの各種施策については、財政健全化を着実に推進しつつ、真に必要な分野への重点化が図られており高く評価するものです。

新年度の予算編成にあたり、市民の要望や我が会派の指摘への的確な対応を図られるよう求めます。

自由民主党千葉市議会議員団

財政健全化に向けた取り組みの成果が見られ認定

引き続き厳しい財政状況でしたが、第2期財政健全化プランにおいては、市税徴収率の向上など、一定の項目について目標を達成しており、財政健全化に向けた取り組みの成果が見られます。高齢者施策や子育て施策をはじめ各種施策の実施についても、一定の評価をします。今後も、税収の確保とともに財政健全化に向けた取り組みを積極的に進めるよう要望します。